

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

枝豆の不思議

ご存知の通りダイズは別名畑の肉と呼ばれるほどタンパク質と脂肪が豊かな豆。ということは、やはり畑の土にも栄養がないと育たないのかと思ったらなんと全くその逆で、ダイズはやせた土地でないとちゃんと育たないというのです。試しに肥料を多く与えた畑でダイズを育ててみると、莖や葉っぱは通常より大きく育っていたにも関わらず、出来る実の数はやせた畑で育ったダイズの方が多かったのです。実はこれはつるボケという状態。ダイズは、肥料分が多いと莖や葉っぱが大きくなるかわりに、サヤの数は少なくなってしまうんです。豊かな土に育つダイズは実が少なく、やせた土に育つダイズは実が多いなんて不思議ですよ。実はその秘密は、ダイズの根っこに隠されていました。ダイズの根には白くて丸い根粒という粒がついていて、その中に根粒菌というバクテリアが沢山いるんです。普通、植物は成長に不可欠な窒素を空気中から直接吸収できないので、土の中に溶け込んでいる微量の窒素分を根っこから吸収しています。ところがダイズの場合は、根についての根粒菌が空気中の窒素を吸収しアンモニアに変えてダイズに渡しているんです。一方、ダイズは光合成で得た糖分を根粒菌に渡しています。このダイズと根粒菌が助け合っている関係を「共生」と言います。しかし、この根粒菌、豊かな土地では他のバクテリアに負けてしまいつきにくくなるので、ダイズは根粒菌が付きやすいやせた土地でないとうまく育たないのです。(ながやす)

テッポウムシについて調べていたら。

バラを育てている人はゴマダラカミキリという虫に注意が必要です。成虫は体長 3 cm ぐらいの黒い体に白いマダラ模様の虫です。太いバラの莖に穴を開けて、中に卵を生み幼虫がバラの枝の芯を食べてしまうからです。入られた枝は弱ってやがて枯れてしまいます。なのでバラ園で成虫を見つけたらすぐに捕殺するのが定番です。その幼虫はテッポウムシと呼ばれていますが、いろいろ検索していたら、「炒って食べたら美味しい」というのが出てきました。昆虫食が注目される昨今ですが、流石に見つけても食べてみようという発想はなかったので新鮮な驚きでした。自然のバランスはとても繊細だと思います。綻びが顕著になったとき、食料も居心地の良い環境も今は当たり前にあるものが 100 年後にあるとはかぎりません。100 年後にバラ園などの作られた庭園がどうあるべきなのか、虫や鳥など周りの環境を含めて未来の構想を改めて考える時なのだと気づかされました。(きのした)

今月の便り

センダイハギとムラサキセンダイハギ

センダイハギは、本州中部(茨城、富山)以北から、朝鮮半島、中国、シベリア、北アメリカ北部まで広い地域に自生する黄色い花が鮮やかなマメ科の植物です。海岸に近い砂地では、ときに大群落をつくることがあります。仙台市以北で目立ち、名前は「仙台萩(千代萩、先代萩)」の意味です。ムラサキセンダイハギと区別しやすいようにキバナセンダイハギと呼ばれることもあります。萩というよりルピナスによく似た花を咲かせますがルピナスと異なり、長い地下莖を伸ばして広がるため、荒れ地の緑化にも利用されますが庭に植えるときは注意が必要です。ムラサキセンダイハギは、学名からバプティシアとも呼ばれるアメリカ原産の多年草で、丈夫で病害虫の被害にあいにくく、手がかからず植えっぱなしでもよく育つ花です。センダイハギが地下莖を伸ばして広がるのに対し、株がだんだん大きくなって育つので植えっぱなしで数年は大丈夫、大株になると庭で目を引く存在となるでしょう。最近では花色も豊富で紫、青、白やチョコレート色、ピンク、黄色もあります。どちらも寒さ暑さに強い植物ですが日陰や多湿には弱いので気を付けましょう。(いとう)

6月の庭木、花木の整形作業

レンギョウ、ユキヤナギなど早春に咲く花木の株を小さく保ちたい場合、低く抑えたい場合は、花芽分化しないうちつまり今月中旬までに枝を切り詰めて、小枝をもとから取り除きます。また3年に一度くらいは地際まで全体を切り戻し株全体を更新するとよいでしょう。ライラック、シャクナゲ類は花後に種をつけさせないよう、花がら、花茎を摘み取り、適量の追肥を行います。ただし、あまり花を重視しないドウダンツツジなどは生長が鈍る7月ころまでに刈り込みます。この時期にできる剪定などの管理をしておく、夏から冬にかけての作業が少なく助かります。ところでアカマツ、ゴヨウマツなどは新芽が伸び始めたころ、みどり摘み作業を行います。しかし昨年のように雨が降らず高温が続くようであれば、折った切り口から脱水して弱った事例がありました。そこで一度に行わず、数日間隔で2～3回に分けるのが無難です。(かわはら)

勿忘草の花言葉

白やピンクや青色の多彩な花色がある春のガーデニングにピッタリのお花。子供の頃から春になると色々な場所で見かけて、押し花などにして栞を作った思い出が蘇ります。花瓶の花束にも使い愛でる事も出来ますね。勿忘草の花言葉や種類を紹介します。3-6月に咲く花で、本来は多年草ですが暑さには弱く花を咲かせた後には枯れてしまう事が多いので一年草扱いです。溢れ種で毎年広がる様に咲きます。ムラサキ科ワスレナグサ属、原産国はアジア・ヨーロッパの熱帯地域です。花言葉「私を忘れないで」「真実の愛」(たかはし)

植物の種や苗を植える前に ②

土壌改良の種類

植物性の改良材は、腐葉土、バーク堆肥、ピートモス、もみ殻燻炭等で、肥料分は少ないが、土をふかふかにして通気性、排水性、保水性を良くします。

動物性の改良材は、牛ふん堆肥、鶏ふん堆肥、豚ふん堆肥等がこれに当たります。肥料分が多く、植物の三大要素である窒素(N)・リン酸(P)・カリ(K)をたくさん含んでいます。鉱物の改良材では、バーミキュライト、ゼオライト、パーライトがあります。無菌のため育苗用土に使われるものもあります。

土地改良の時期に決まった時期はありませんが、春先の植え付け2週間前又は秋の収穫後が望ましいです。土壌改良材は、土に混ぜて使うのが基本です。土壌改良材の中には、熱やガスが発生する等、作物を傷めてしまう場合があるので、必ず植物を植える2週間以上前に作業を行います。土の上の層と下の層を入れ替えるように深くしっかり耕します。耕しているときに前に植えていた植物の根や雑草、石などがあれば取り除きます。ふるいを使って取り除くのもおすすめです。しっかり耕すことができれば、土の状態に合わせた土壌改良材を使ってムラのないように土に混ぜ込みます。



ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第九十二回

ポリアンサローズ

クリスタル フェアリー

Crystal Fairy

作出国：オランダ

作出者：Jan Spek Rozen

作出年：2002年

ハーディネスゾーン：Z5

繰り返し咲き

交配：The Fairy の枝変わり

風が強い日が多いですが、暖かい日も増えてきて一か月後の開花が待ち遠しくなってきました。

本日は圧倒的な多花性のポリアンサの名花 The Fairy の枝変わり、Crystal Fairy をご紹介します。

まず、枝変わりというのは、同じ株の枝から花の色が元の色とは違っていたり、突然つる性の長い枝が出てきたりと、突然変異した枝が現れることをいいます。Crystal Fairy の場合は、花色がピンクの The Fairy から白花がでて、その枝を増やしていった Crystal Fairy になったという経緯になります。

元の The Fairy はとても花付きよく、病気に強いバラですが、その性質は十分に引継ぎ、かつ小輪の白花が咲き誇る様はとても可愛らしいバラです。開花性、耐病性は素晴らしいですが、The Fairy から引き継いでいないのは成長速度と耐寒性でしょうか。

Crystal Fairy は地植えしてから大きくなるまで他のバラと比べてものんびり屋さんかなと思います。もちろん、場所によって差はあると思いますが、当園では中々大きくならず、最初はハラハラしていました。耐寒性に関しては強いとはいえますが、元

と比べると1段階弱いかなと思います。大きくなったとしても樹高、幅どちらも90cm程度にしかならず、まとまりのいいサイズ感で鉢でも楽しめるバラかと思います。

剪定に関しては、細枝でもよく咲くポリアンサなので、竹串程度で切っていきます。

当園では、整形式ローズガーデンのうずまきの最初に植えてあり、中輪、大輪が多い中でほっとするような可憐な雰囲気は素敵です。

元の The Fairy が1932年作出ですが、Crystal Fairy は2002年ということで、70年後に作出されました。その間栽培され続けた The Fairy が素晴らしい名花ということがわかりますね。

作出者としては Emiel Keiren さんなのですが、ほとんどのサイトで Jan Spek Rozen という会社名で記載されていたのでそちらを載せました。Jan Spek Rozen の代表作には、イングリッシュアイズやジャンヌダルクといったバラがあります。どちらも残念ながら当園には植栽されていない品種ですね。オランダの会社になりますので、暖かい地域に合うようなバラが多いのではないのでしょうか。当園では珍しいオランダ産のバラ、ぜひ見に来てくださいね。

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 6月11日(土) 13:00~15:00 小品盆栽・苔玉の楽しみ方
料金：無料 定員：18名 講師：桑内彦さん 岩見沢樹石会
- 6月12日(日) 13:00~15:00 Only Oneの寄せ植えづくり
料金：材料代 2,000円~(容器代別途)
定員：10名 講師：高橋 かつえさん フラワーマスター
- 6月18日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ④ スタッフが一番花を語る回。
料金：無料 定員：18名 講師：バラ園スタッフ
- 6月25日(土)・7月2日(土) 10:00~ バラ管理スタッフのローズツアー
料金：無料 定員：18名 講師：バラ園スタッフ
- 6月26日(日) 10:00~12:00 バラの美しい写真の写し方
料金：無料 定員：18名 講師：河野芳廣さん カメラの理光
- 7月2日(土) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
料金：材料代 1,000円 定員：18名
講師：大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー
- 7月3日(日) 10:00~12:00 バラ園でスケッチしよう
料金：無料 定員：10名 講師：藤川志朗さん イラストレーター

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111 ホームページ：<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方 × 37.0℃以上の熱がある方
上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。